

# じんけん

啓発紙

2019年

通巻66号

世界人権宣言70周年

気づいてほしいんだな、人権のこと。

人権週間街頭啓発キャンペーン  
12月4日（火）静岡駅前地下交流広場



ふじのくに人権フェスティバル  
12月19日（水）島田市民総合施設プラザおおるり



## も く じ

- ふじのくに人権フェスティバル P2～P3
- 人権講演会（沼津・袋井） P4～P5
- 企業と人権セミナー P5
- 人権啓発センターからのお知らせ P6  
〈人権啓発センターライブラリーからのご案内・新着DVD〉



# ふじのくに人権フェスティバル

12月19日(水)

島田市民総合施設プラザおおるり

静岡県人権啓発活動ネットワーク協議会（静岡地方法務局、静岡県人権擁護委員連合会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、浜松市、浜松市教育委員会）と島田市の共催で、ふじのくに人権フェスティバルを開催しました。

## 第一部 式典

### 「第38回全国中学生人権作文コンテスト」静岡県大会入賞作品表彰式

#### ○ 最優秀賞

##### ◆静岡県人権擁護委員連合会長賞

「ヤパンスカ・ヤブカ」

すずき やーな  
鈴木 陽菜 さん

（浜松市立湖東中学校）



鈴木 陽菜 さん

#### ○ 特別賞

##### ◆静岡県教育委員会教育長賞

「二十分遅れのバス」

まつうら ゆうき  
松浦 夕輝 さん

（浜松市立南陽中学校）

##### ◆静岡新聞社・静岡放送賞

「チョコレートの裏の顔」

あおしま しえり  
青嶋 志絵理さん

（島田市立六合中学校）

##### ◆日本放送協会静岡放送局賞

「女子がズボン、それなら男子は？」

ふじやま ゆう  
藤山 結さん

（函南町立函南中学校）

##### ◆清水エスパルス賞

「心のバリアフリー」

かわもり ただまさ  
河守 唯全さん

（島田市立六合中学校）

##### ◆ジュピロ磐田賞

「輝く『自分らしさ』」

すずき あおい  
鈴木 碧さん

（浜松市立東陽中学校）



特別賞の受賞者の皆さん

## 第二部 講演会

「世界9万5000km 自転車ひとり旅から考える人権」

講師：<sup>いしだ</sup>石田 ゆうすけ 氏（旅作家・エッセイスト）



〔講演要旨〕 たった一度の人生を輝かせたい。自分の足で世界中を走る自転車ひとり旅へ。

「岩が生きている」。そう当たり前前に思えたアメリカのモニュメントバレー。メキシコの石畳、ガス灯、幻想的な夜景。アンデスの100kmも続く坂道……。自転車は自分の力だけで世界を進む、最高の感動の手段。

そして、「人」に出会うことで新しい世界が広がる。ポーランドで出会った片足で三輪車に乗る人。障害のある人が物乞いをしている姿をたくさん見た後だったこともあって、「物乞いにちがいない」と思ったその人は、優しさに満ち溢れた瞳で、キノコを「持っていけ」と差し出した。

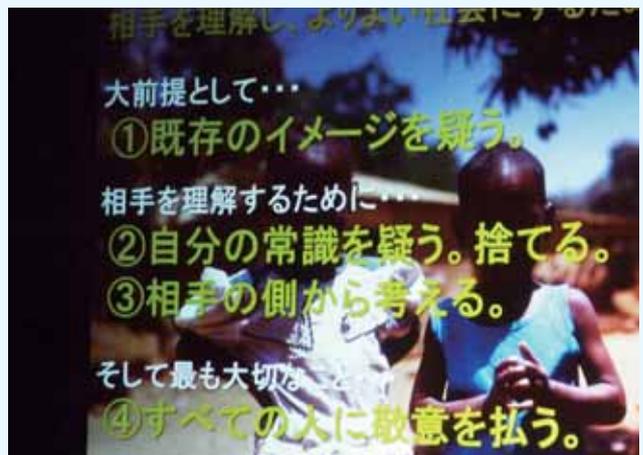
シリアでは、いかにも怖そうに見えた村人が「うちに泊まれ」と笑顔で誘ってくれた。「ありがとう」しか言えない。感謝だけが残った。

報道される映像は、真実のひとつではあるけれど、100分の1にすぎない。残りの99の真実を自分の目で見て経験したい。

一見すると怖そうなトルコの人たち。でも、一人一人は優しい顔をしている。親日の彼らといると、こちらも親トルコになる。好意を寄せあう方が簡単じゃないか。旅をして、自分は怒らなくなった。最も大切なことは、「全ての人に敬意を払うこと」。自分の人生が楽しくなるから。

### 〔参加者の声〕

- 私も夢を夢で終わらせないように、そして、みんなが笑顔でいられる世の中をつくりたいです。
- 世界の美しさとともに、各国の人の思いやりが伝わってきました。全ての人に敬意を払う。私の中で価値観が大きく変わりました。



## 人権講演会（沼津） 12月4日(火)

## 『笑って学べる終活』 ふじのくに千本松フォーラムプラサヴェルデ



人生の終わりをどのように過ごすか。自分らしく生きて自分らしく最期を迎えるために、どのような準備をしたらよいか、お二人の講師から落語などを交えて楽しくお話しいただきました。

### 第一部 「おい～超高齢化社会の中で 自分を生きる」

講師：生島 いくしま きよみ 清身 氏（行政書士・社会人落語家）

〔講演要旨〕「笑ンディングノート」を書くことは、遺言書に表しきれない想いを残し、今後の人生を自分らしく、悔いなく生きることにつながる。記入するのは、まず「自分史」。ほかの人にはない経験を綴ることで自分だけの人生と向き合うことができる。これからしたいことも書くといい。さらに、自分の受けたい医療や保険、介護、延命治療等についても、将来必要になったときのために事前に家族と話しておきたい。

### 第二部 「おい支度は元気なうちに～ 初めての任意後見」

講師：海田 かいだ しんや 新也 氏（しんきん成年後見牒<sup>®</sup>ト沼津）

〔講演要旨〕判断能力が十分でない方を支援するために成年後見制度がある。その一つである「任意後見制度」は、判断能力が不十分となる時に備えて、自ら代理人を選び、生活・看護・財産管理等の内容を予め決めて、契約を結んでおくもの。自分が元気なうちに、考えておいてほしい。



## 人権講演会（袋井）

12月12日(水)

袋井市月見の里学遊館

### 「認知症になった波平 ～高齢者の人権について考える～」

講師：渡辺 わたなべ てつお 哲雄 氏（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員）



認知症予防・介護家族のありかた・高齢者問題の専門家である講師から、認知症の方や、家族・支援者等の心に触れ、当事者や周知の人たちが生き生きと安心して暮らすためのヒントについて、ご自身の介護体験を交えて、わかりやすくお話しいただきました。

〔講演要旨〕誰もが知っている「サザエさんの磯野家」を例に、高齢になり認知症になった波平を想定し、高齢者へのかかわり方を考えた。認知症の人は何もかもが分

からなくなり、自分ではできないことが増えるという思い込みをしている人も多いが、認知症の方にもその行為には理由がある。しかしその理由を忘れてしまうから困難を伴うのである。家族や支援者がストレスを感じずに、支援をしていくことは、認知症の方を理解しようとすることから始まる。まさに相手を尊重することから始まる。

#### 〔参加者の声〕

- ・講演会というと難しい話を聴くだけで、実生活にどう生かせるかわからず、その場限りになることがあるが、身近な話題に置き換え、誰もが起きうる認知症の方への接し方にたくさんのヒントをもらった。人権についてより考えてみたいと思う。

## 企業と人権セミナー

12月7日(金)

ふじのくに千本松フォーラムプラサヴェルデ

### 「企業におけるハラスメント対策 ～事前の対応策と事後の対処法～」

講師：栗田 勇 氏くりた いさむ（弁護士法人栗田勇法律事務所 代表弁護士）



県内の企業などにおいて数多くのセミナーの開催実績を持つ講師から、裁判事例などを交えて、ハラスメント対策の基本をわかりやすく解説していただきました。

〔講演要旨〕 必要なのは基礎的な知識と高い意識。多くのトラブルは想像力の欠如から起きている。その現実から、いくら法を整備してもパワハラはなくなる。ハラスメント対策は、全ての企業の必須の課題と捉え、緊急時のための準備・研修を平時に進めておくべきである。

業務上の指導との線引きが難しい場合もあるが、傷害を負わせる行為、人格を否定する暴言、大声で繰り返される叱責は、明らかなハラスメントであり、それらは研修によって防ぐことができる。研修においては、「自分はできるのに、何でできないの」と感じてしまう自分をコントロールできるようにすること。さらに、人格を否定することなく行動を正す姿勢を学ばせることが大切である。また、相談担当者には、その役割は相談ではなく、事実関係の確認のみであるということ学ばせることが必要である。

ハラスメント対策は、専門家の支援を得て、準備を進め、敬遠せずに取り組むべきである。

#### 〔参加者の声〕

- ・社員一人一人が「自分事」と捉えられるまで、研修を継続して行いたい。
- ・具体的な対策を行うためのヒントをもらったので、定期的な研修を企画して動き出したい。



# 人権啓発センターからのお知らせ

## 人権啓発センターライブラリーからのご案内

### ☆ 新着DVD

名 称	内 容
企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	企業にとっての人権について、先進的な取組事例をもとにミニドラマを通して解説
あなたの彼氏彼女は大丈夫? ~恋人関係のDV 被害~	婚姻関係のない若者間のDVについて解説
私の中の差別意識 部落差別問題から考える	部落差別問題を通して、差別意識の気づきを促す
上司のハラスメント グレーゾーンをなくそう	ハラスメントグレーゾーン事例をもとに対応を解説
パワーハラスメントにならない叱り方	パワハラを正しく理解し、部下への指導の仕方を解説
気づいて一歩踏み出すための人権シリーズ⑤ お互いの本当が伝わる時 障害者	「障害のあるなしに関わらず皆で共生していくためにはどうすればいいのか」を、具体例を通して考える
気づいて一歩踏み出すための人権シリーズ⑥ わからないから確かめ合う コミュニケーション	企業が直面する可能性が高いテーマを取り上げ、解決策としての「コミュニケーション」を提示する
アサーティブな対応で防ぐ グレーゾーンのパワーハラスメント	パワハラを予防・解決するために、事例を通して「アサーティブ」な対応を学ぶ
アサーティブな対応で防ぐ グレーゾーンのセクシュアルハラスメント	セクハラを予防・解決するために、事例を通して「アサーティブ」な対応を学ぶ
コミュニケーションに潜むセクハラ危険	定義から学べる基本教材。ミニドラマを通して解説
事例で考える職場のコミュニケーションとセクハラ	ディスカッション用の二つの事例を通して解説
聲の形	「いじめ」「障害者との共生」を考えられる学習教材
ともに生きる私たちの未来 「部落差別解消法」がめざすもの	ネット社会で新たな局面を迎えている「部落問題」について考え、「ともに生きる社会」の実現を問いかける

その他のものも多数揃えています（所蔵数438本）。詳しくはホームページをご覧ください。



ライブラリー閲覧コーナー



蔵書数 983冊（平成31年2月現在）  
人権課題別に図書を取り揃えています。

### 貸し出しに際しての留意事項

貸出申請 所定の様式（ホームページよりダウンロード可能）  
 貸出数 書籍…1回につき5冊以内 DVD・ビデオ…1回につき3本以内  
 貸出期間 2週間以内  
 ※ライブラリー閲覧スペースにて、視聴も可能です。  
 ※郵送等による貸出もできます。 **返却時の送料のみ利用者負担です。**  
 受付時間 月曜日から金曜日 9:00～17:00 休日、年末年始（12/29～1/3）は除きます。  
 ご希望の資料が貸出中の場合もありますので事前にお問い合わせください。

平成31年3月発行

（平成30年度 法務省委託事業）

静岡県健康福祉部福祉長寿局地域福祉課人権同和对策室（静岡県人権啓発センター）

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内

TEL 054-221-3330 FAX 054-221-1948

e-mail jinken@pref.shizuoka.lg.jp http://jinken.pref.shizuoka.jp/

印刷用の紙にリサイクルできます。  
この印刷物は、7,000部作成し、1部あたりの印刷経費は10.2円です。